

自主防災会をたちあげました！

足守中学校区 防災会議ニュース



第 1 号
2020年1月17日
発行
足守中学校区防災会議
〒701-1463
岡山市北区足守 718
岡山市立足守公民館内
TEL/FAX : 295-1942

岡山市では、単位町内会での自主防災組織の結成に向けた取り組みを支援しています。

足守中学校区でも、各単位町内会で自主防災会のたちあげが進んでいて、今年度新たに14町内会で設立されましたが（足守7・大井4・高田3・福谷はすでに設立済）一方で「まだまだ話もできていない…」といった声もお聞きしています。

そこで、先月、自主防災会をたちあげられた本町中町内会の荒木さんと富田さんに、たちあげまでの話し合いや購入物などについてお聞きしてみました。

Q：町内会（23戸）での話し合いはどうされましたか？

A：話し合いの場を持つのではなく、町内の清掃活動や集まりがあるたびに自主防災組織の立ち上げについて話をしました。何度かその話題に触れることで、できそうな雰囲気になりました。

足守中学校区防災会議・足守公民館 共催講座

自宅で命を落とさない、ケガをしないための家庭内DIG

地震がきても、わが家で暮らす方法を学ぶ

南海トラフ巨大地震が近いといわれています。地震を含め災害が少ないと思われている岡山市ですが、昨今の異常な気象を考えると、可能性はゼロではありません。

これまでに起きた地震では、家の倒壊のほか、家具の転倒や落下物、ガラスの破損などにより、多くの方がケガをし、命を落とされました。

Q：どんな点にご苦労されましたか？

A：苦労ではないですが、役割を決める必要があったので、思い当たる方を訪ねてお願いしました。事前に自主防災会の立ち上げについて話していたので難しくはなかつたです。岡山市への申請も思ったより簡単で、問題なく受理されました。公民館の防災講座で学んだことと配布された資料を添えて各戸へ届けました。

Q：防災備品の補助金（10万円）でどのようなものを購入されましたか？

A：まだ購入はしていませんが、誘導担当者用にヘルメットとメガホン、夜間の照明や携帯電話の充電に必要な発電機、多用途に使える折りたたみリヤカーなどを検討しています。

設立は用意された書類に記入するだけ。防災備品も町内の事情に合わせて柔軟に購入できますので、あなたの町内会の自主防災会を設立して災害に備えましょう。（ご相談もお受けします）

・・・でも、家具の転倒やガラスの破損は、ちよつとの準備や心構えで防ぐことができるのでは？

ということで「家庭内DIG」をすることにしました。

言葉だけ聞くと難しそうですが、自分の家がどうなっているかを思い出しながら、一緒に考えていけたらと思っていますので、お気軽にご参加ください。

日時：一月二十五日（土）

13時半～

場所：足守公民館

講座室

講師：森田 靖さん

※参加無料

筆記用具をもってご参加ください

申込：足守公民館まで

「マイタイムライン」作成のすすめ

タイムラインとは？

行政・インフラ系企業が災害時にあらかじめ決められた時系列でそれぞれの行動や準備を決めておいて周知しておくことをタイムラインと呼んでいます。

災害対策本部が立ち上がらなくても 所属長がゴルフや海外旅行にいついていても 災害により 連絡網が途絶えても 担当の職員があらかじめ決められたルールにより 指示命令がなくても 行動がとれるように事前にスケジュールを組み立てておくことで 対応の遅れをなくす目的のものです。

そのタイムラインを個人に置き換えて いつ避難するのか？ どこへ避難するのか？をあらかじめ時系列に決めて書いておくことをマイタイムラインといいます。

災害時 あなたはどこに避難しますか？ いつ避難しますか？ あらかじめ決めておかないと 災害がおこったとき いつ逃げようか？ どこへ逃げようか？ 迷っているうちに 逃げ遅れたり 本

来 持って逃げるべきものを持ち忘れたり 連絡すべきところに連絡できなかつたり 命に係わる危険な目にあわないうも限りませぬ。

昨年末 大井町内会の皆さんと一緒にマイタイムラインのチェックシートを使って 丁寧に避難場所と避難経路の洗い出しをしたところ いままでなおざりになっていた避難場所の整備を具体的に行うことを決意されました。このようにひとつひとつ課題をチェックしながら 災害に備え 災害時の自らの行動をあらかじめ決めておけば それを行うための準備や計画を立てやすいですし いざというとき そのチェックシートを見ながら そのように冷静に行動できます。また わかりやすいここにはりつけておけば 家族の方にも情報が共有できて災害時はこうするんだ、ここにいくんだとわかっていけると安心ですね。

災害がおきてしまったら 手遅れです。 何もないうちに 自分

投稿

学んだことを活かしたい

平成三十年七月豪雨では足守も大雨が降りました。あと一時間降り続いていたら我が家も床上浸水になっていたかもしれないと今でも恐怖心が蘇る。

豪雨災害があつた半年後、公民館で「防災会議」が始まると知り 不安な気持ちを抱いたまま勉強のため参加した。話し合いや研修を重ねていくうち「備えが大切」、「避難するタイミングの自己判断が大切」、「地域の人々との連携

自身の備えだけはすませておきましょう。

マイタイムラインチェックシートは公民館においていますのでいつでもお声がけください。また個別に一緒に考える会もさせていただきますので 自主防災組織を作成する計画の町内会のみならずも気軽に相談ください。

(森田 靖)



が大切」

等々防災意識を高めることが重要と解りました。

行政からは自主防災組織結成率百パーセントを目標に強力に推進しているという。我が町内ではまだ防災組織の立ち上げの話は届いていないが、今まで学んだことを地域や町内の防災活動に活かしていきたいと思っている。

(M)

編集後記

このたび「足守中学校区防災会議ニュース」を発行させていただきました。この会は、毎月一回、足守公民館に集い、地域の防災・減災について様々な話し合いや活動を行っている会です。これからも、講座の開催やニュースなど発信に取り組んでいけたらと思っておりますので、よろしくお願いたします。